

# 1. 保育の計画（R2年度）

## 評価・反省

- ・年少児の子ども達の気持ちに寄り添い、「楽しい」と思えると環境を考える必要がある。
- ・学年の先生と週末に翌週の保育について話し合い、連携して計画を立てることができた。子供が毎日楽しいと感じる環境をもっと工夫していきたい。
- ・室内の壁面や歌詞カードなど、子ども達が季節を感じたり歌を歌ったりする活動の為の環境作りは意識していたが、楽しく遊びこめるような環境づくりはあまり意識できていませんでした。異年齢交流や集会等で先生がどのようにして声を掛け保育しているか学び、取り入れることを意識しました。
- ・壁面の月ごとの構成が不十分であった。
- ・日々自らの保育を振り返り反省し次の保育の計画をし、実践するという事ができました。保育の方法で悩むことが多かったが、先輩の姿を見てまずは実行するという事ができた。
- ・発達に凸凹がある子への環境設定が難しかった。園内研修（文殊マップ等）を通じて他のクラスの保育の仕方を学ぶことができました。
- ・今年度はコロナウイルスにより行事等の日程が変更になることも多く、同じ学年の先生との話し合いはできていたものの、講師の先生や出掛け先の施設への連絡が遅くなり迷惑をかけてしまうこともあった。
- ・計画に基づいた保育をするよう心掛ける事ができた。
- ・様々な行事や活動に向け、気持ちを高められるように計画をすることができた。学年間での話し合いも十分にできていたと思う。

## （お助けマン）

- ・環境構成やあそびの発展が難しく、一つの活動でも「どうすればもっと楽しめたかな」「次はどのようにしよう」と考えることが多かった。先生方の声掛け、導入を吸収したり調べたりして実践をしていきたい。
- ・園の教育理念や方針について、日頃あまり考えることがないと思いました。
- ・カリキュラム作りや指導計画には直接関わらないが、計画書には十分目を通し保育のねらいが達成できるよう保育補助に努めた。
- ・朝の園庭の環境整備に努め、子ども達が安心安全に遊ぶことができるようにした。
- ・園の方針には常に意識することを心掛けた。子どもの主体性を引き出す環境づくりでは特に言葉のかけ方や、支援の必要な子どもへの対応の難しさを感じた。
- ・保育後担任の先生と保育の反省をし、翌日の保育に生かすことが出来る様改善策等話し合い、日々の保育に繋げることが出来た。
- ・保育補助として働くようになって初めての1年。項目を見ながら、学年の指導計画を共有して頭に入れて保育する必要があると思った。その時々の子どもの姿を捉えて環境構成出来る様に努めている。

## 反省を基に来年度実行・改善すること

- ・心から「楽しい」と思える環境。様々な行事のマナー化。
- ・毎日の自由遊びや支度など、流れがマナー化してしまうことがないようにゲーム感覚で取り組める

など変化を付けた保育をしていきたい。

- ・もう一度教育理念・方針・幼稚園教育要領を理解したうえで現在、そして育てほしい子どもの姿を考え自ら活動を生み出していけるような環境作り、保育をしていきたいと思います。日々の先生方の保育から、どのような工夫をしているのか学び吸収し、自分の保育に取り入れることを来年も心掛け成長していきたいです。
- ・月ごとに環境・視覚的な季節や旬のものを取り入れる。
- ・環境構成について安全面だけでなく、子どもが期待出来る様な自ら遊びを生み出し展開していけるようなものにしていく。素材研究をし、ねらいをもって環境構成を考える。
- ・発達に凸凹がある子ども、集団の一員として楽しむことが出来る環境設定を考えていく。
- ・変更した予定は赤字で記入する等、スケジュール管理をしっかりとするとともに、施設などの連絡も忘れないうちに早急に行う。
- ・計画の見直しを忘れずに行い、子どもの今の姿に合った保育をしていく。
- ・素材の面ではあまり変化を付けることが出来ない為、マンネリ化しないように心掛けたい。

### (お助けマン)

- ・特に自由遊びの時、子どもが「やりたい」「楽しかった」と思える教材を勉強し、取り入れていきたい。
- ・折々に教育理念や方針を振り返ることをしていきたいと思います。
- ・引き続き指導計画が園の教育理念や方針に沿うよう実践していく。
- ・引き続き園庭整備に努め、子ども達が自然の中で伸び伸び遊ぶことが出来る様、配慮したい。
- ・日頃の子どもの様子から求められるものを見つけ、環境の構成に工夫していきたい。子どもが主体的に「やってみたい」「やってみよう」と遊ぶ姿を引き出すための、環境作りをしたい。
- ・室内遊びの充実を図りたい。子ども達が自ら遊びを展開できるよう、素材を置いたり環境設定配慮したい。
- ・学年の指導計画等を見せてもらい、把握したうえで保育に参加する。
- ・環境については事務職の観点から、子ども達にとって良い環境を整えることが出来るよう予算を組む。

## 2. 保育の有り方・子どもへの対応 (R2)

### 評価・反省

- ・ 個性や発達を理解し、その子に合った声掛け。
- ・ 戸外遊びの際に危険と感じる行動をしている子に注意するなど、安全面の配慮ができていた。
- ・ 登園時確実に確認しなかったため、いつできた傷か分からない傷がありました。又元気がないと感じた子が家に帰ってから物をなくして悲しんでいる事を保護者様から聞くことができました。子どもの特性に対し、皆と同じように出来る様にしなくてはと考え、「できないの」など否定的な言葉かけをしてしまうことができました。
- ・ 朝の視診から子どもの心と体の状態をしっかり把握し、一人ひとりの理解のもと保育が出来た。なんでも互いに相談しあい全職員で連携・協力し保育に取り組めた。
- ・ どんな時もまずは子どもの気持ちや意見を受け止め、関わる事が出来た。肯定的な言葉で、子ども達に声掛けすることが出来た。
- ・ 3クラス合同で話を聞く機会を設けたり、園外保育へ多く出掛けることで学年全体で子ども達を見る事が出来る様にしていた。
- ・ 出来る様になったこと、頑張っている姿をとにかく褒める事を心掛け一人ひとりに言葉をかけるように意識した。
- ・ 子どもへの対応は、常に誠実であるよう心掛けた。
- ・ クラスだけでなく、学年を超えてたくさん交流出来たと思う。

### (お助けマン)

- ・ 子どもの行動に対し、注意の仕方・タイミングが適切であったか考え直すことがあった。
- ・ 子どもの理解が、まだまだ不十分だなと思った。
- ・ 職員室に訪ねてくる子ども達とも関わる機会が増え、全学年の子どもへの対応をする中で、保育室で見せるのとは違う姿を見る事が出来た。
- ・ コロナ禍という事もあり、子供の体調には気を配った。連絡ノートの体温チェックもしっかり目を通し、変化があった時は担任に報告した。
- ・ 支援が必要な子についていたので、発達段階に応じて起こりうる怪我・事故を念頭に常に置き配慮していくことに努めた。
- ・ クラスに入れる時には、必ず子ども達の関わりを通して把握しようとした。深く知るために、常に常に子どもの興味へアンテナを向けたい。
- ・ 常に子どもの姿を様々な場面でしっかりと捉え、心に寄り添い言葉かけを出来る様務めている。

### 反省を基に来年度、改善・実行すること

- ・ 発達について、理解や支援方法を学ぶ。
- ・ クラスの子ども全員をまんべんなく理解し、見通しをもって保育することを意識していきたいと感じた。
- ・ 常に子どもの安全を理解し、特に登降園時子どもの様子に変化はないか気を配る事を心掛けていきたいと思います。常に心に余裕を持ち一人ひとりの特性を認め・受け入れ・褒めて伸ばしていきたい。

けるよう、温かい保育をしていきたいです。保育者は子どもの安全を守り、成長を支えるという役割を持っている事を改めて心に留め保育をしていきたいと思います。

- ・年齢や発達に応じ、一人ひとりの子どもに合った保育の環境設定や内容や援助を考えていきたい。
- ・報告、連絡が遅れてしまうことがあった。必ず伝え、職員全員で共有することが出来る様にする。
- ・個々の発達課題を明確にし、良い方向に向かっていくように保育の中に取り入れていく。
- ・もも組さんとの交流は多く、自然と自由遊びの中でも関わる姿が見られたが、さくら組さんとももう少し交流の機会が有ると良いと思う。
- ・引き続き、誠実に向き合うように努力していく。
- ・行事に追われると戸外の時間が、十分とれないこともあった。子ども同士どう関わっているのか、把握しきれていない所もあるので課題だと感じる。

### (お助けマン)

- ・伝え方・タイミングを一人ひとりの発達（年齢）を見て考える。
- ・各クラスの補助に入った際には、出来るだけ子どもの把握に努めたいと思います。
- ・子どもの気持ちに寄り添い、子どもの理解を深めていく。
- ・子どもの体調の変化に敏感に対応できるようにしたい。
- ・発達に合わせて友だち同士と一緒に、何かをやり遂げる機会を増やしていきたい。
- ・子ども達の興味のある物・事を把握し、保育に活かせるよう環境設定したり準備していく。
- ・担当する学年が変わっても、また子ども達と密接に関わり遊び安心し園生活が出来る様に関わっていきたい。

### 3. 保育者としての能力・良識・適正

(R2年度)

#### 評価・反省

- ・保育者としてだけでなく、一人の人として行動する様心掛けた。
- ・バス通園のため中々園に来たりお会いすることの少ない保護者の方と、関わるのが少なくなってしまった。
- ・保育者として人のモデルとなるよう行動は常に意識していたが、友達との会話などでは保育者の自覚が足りなかったと反省しました。感謝の気持ちはあるが、それを言葉・行動に表せずしていたことがあった。常に伝わるよう行動で示していきたいと思います。
- ・提出物が遅い！！またクラスの整理整頓が出来ていない。
- ・志都呂幼稚園の職員の一としての自覚をもって、言動することが出来た。体調管理にもう少し気を配っていきたい。
- ・今年度も無欠勤を達成できそうでよかった。自分のクラスで手いっぱいになってしまい、後輩指導が出来ていたかといわれると自信がない。
- ・職員同士子どもの日々の様子等伝えあいながら、良い雰囲気の仕事ができたと同時に、他の学年の子についても知ることが出来た。
- ・保育者としての自覚を持ち、過ごすことが出来た。
- ・今年度は健康管理に気を付け、一日も休むことなく元気に過ごすことが出来た。

#### (お助けマン)

- ・自分なりに意識して行動できたが、より周りを見て気づきを増やしていきたい。
- ・保育者として大切なことを、自分を律しながら生活していると思います。
- ・トイレや水回り・廊下・保育室の棚など、気づいたときにこまめに清掃することで清潔な環境を保つことが出来た。
- ・声の出し方が悪く声帯を痛めてしまい、体調管理がなっていなかった。
- ・コロナ禍でいろいろ変化していく中でも、心にゆとりが持てるようにした。
- ・「社会人として適切な行動」を心掛けていた。後輩への指導など、十分に出来なかった。
- ・恵まれている職場の人間関係や環境を改めて実感し、大切にしていきたいことが大事だと思った。
- ・「ありがとう」という言葉を心から言っているか、、、という思いがあります。

#### (バス乗務員)

- ・常に笑顔を絶やさず元気よく子どもと接していますが、たまに大声になりすぎて自分が一番騒がしくなってしまう。
- ・提案されたことに対して知識不足で、意見することが出来なかった。

- ・与えられた仕事は、確実に責任もって行う。
- ・子供や保護者様に、挨拶・誠意をもって接した。

## 反省を基に来年度実行・改善、すること

- ・時間や提出物などを守る。
- ・お会いする機会の少ない保護者の方には、定期的に園での子どもの様子を電話で伝えたり、連絡ノートを積極的に活用するなどして密な関係を気付いていくことを大切にしていきたい。
- ・保育者として志都呂幼稚園の一員として社会人として子どもだけでなく皆のモデルになれるような、言動を常に心がけていきたいと思います。与えられた担当や役割などを先輩が主に行ってくれることが多々あったので、来年はより積極的に確実の行うことが出来る様保育者間で連携を取っていき、分からないことがあればすぐに聞き行動していきたいと思います。
- ・分かりやすく整理できるよう書庫を整え、古い保育雑誌や使っていない教材などは処分する。
- ・締め切りのある事を余裕をもって取り組み、厳守する。
- ・常に身の回りをきれいに保ち、余裕のある行動をとっていく。
- ・話す中で子どもの様子をより知って、自分のクラスの子だけでなく困っている時には手助けできたらと思う。
- ・時間に余裕をもって行動するように心掛ける。
- ・クラスの整頓が不十分であると思った。常にキレイなクラスでいられるようこまめに整えていきたい。

## (お助けマン)

- ・常に謙虚な気持ちや感謝の心を忘れることなく、持ち続けていきたいと思います。
- ・「気づいたことはすぐに行う。」を徹底し、物事を後回しにしないよう心掛けた。
- ・引き続き清潔な環境を整えていく。
- ・体調管理に努め、万全な状態で保育出来る様にしたい。
- ・支援の必要な子ども達が増えているので一人ひとりの子どもの様子を明確に知りた  
い。話合いの場面を増やす。
- ・来年度はクラスだけでなく今以上に園全体の環境に配慮していきたい。また後輩を  
気にかけて、サポートするとともに、一緒に保育の充実を図りたい。
- ・保育で使う紙・教材等も、必要な分しっかりと使わせて頂けることに改めて感謝し  
て  
大切にしていきたい。
- ・職場の雰囲気をよくする意味で、コミュニケーションは大事ですがその場に合った  
会話・言動に気を付けたい。またスタッフには常に感謝を忘れない。

## (バス乗務員)

- ・私の声が大きいと車内が騒がしくなってしまうので、声のトーンを下げて子ども達

に聞こえるようなバスの中にしたいです。みんなが興味をもって貰えるような会話を心掛けたいです。

- 職員の皆様のアドバイスを頂きながら、任された仕事をしっかりとこなしていきたい。自分の意見をしっかりと発言できるようにしたい。
- 健康管理に注意し、業務に支障の無いようにする。
- 挨拶は常に明るく笑顔で、人より先を心掛ける。

## 5. 地域の自然や社会との関わり

(R2年度)

評価・反省 ・明るく挨拶するよう心掛けた。

- ・問い合わせを受けて他の先生に確認してからでないと、分からないことが多い。
- ・電話での問い合わせや質問に対し、分らなかつたり自信がなく確認しなければ答えられないことがありました。すすすく教室では緊張し、自信がなく戸惑ってしまうことがありました。
- ・すすすく教室では毎回、ご来園される方に楽しんで頂けるよう考えている。
- ・電話対応での言葉選びを、誤ってしまうことがある。先輩の姿を見て、適切な表現を身に着ける。
- ・園見学に来られた際、園に良い印象を持って頂けるように笑顔と明るい表情を心掛けた。
- ・電話等で園の問い合わせがあった時、伝達があったことはしっかり覚えておくよう心掛けてはいたが、「何を聞かれるかなど」少し自信がない部分もあった。
- ・園外の方にも積極的に挨拶や会話をするよう心掛けた。
- ・見学となると園長先生に任せてしまいがちだと思う。自分一人でも自信をもって対応できるようにしたい。

(お助けマン)

- ・昨年と比較すると、自信を持って（質問に）答えられることは増えた。まだはっきり答えられないこともたくさんだと思う。
- ・明るく笑顔を絶やさないう見学者や地域の方と接するよう心掛けた。
- ・見学者や問い合わせの電話にも的確な対応が出来る様、大切な情報にはメモして携帯するようになった。
- ・すすすく教室に来てくれたこの名前を覚え、次にまた会った際には名前を言って挨拶が出来るよう心掛けた。喜んでいただけるので、引き続き積極的に挨拶や会話をしていきたい。
- ・地域の方や来園者の方など、挨拶を交わしていい雰囲気作りに努めることが出来た。
- ・無償化や満三歳児クラスについて、十分理解できているか不安はあるが



電話ですくすく教室や園の見学を勧めることはできた。

- ・問い合わせにすぐに答えることが出来る様に、質問がありそうな内容を頭に入れておきイメージトレーニングする必要がある。
- ・挨拶等は明るく接している。

## 反省を基に来年度実行・改善すること

- ・方針を明確に理解し伝えられる。
- ・自分の園のことについて自信を持って答えることが出来る様、自分から園のことを知り的確に答えられるようにする。
- ・園の方針・きまり事等もう一度改めて確認し、しっかり頭に留めることで自ら自信をもって答えたりすくすく教室で自らを発揮できるようにしたい。
- ・今後もご来園くださる方・子ども達が、楽しい時間を過ごせるよう全力で盛り上げたい。
- ・園への第一印象が良くなるよう、電話対応は丁寧に来園の際には明るく笑顔で迎え入れる。
- ・園に対する問い合わせがあった際、的確に伝え志都呂幼稚園の良さを伝えられるようにしたい。(温かな雰囲気)
- ・引き続き意識をもって行動していく。
- ・園の細かいことも学び、伝えられるよう知識を増やす。

## (お助けマン)

- ・分からないことをそのままにせず、聞いてしっかりと身に付けていきたい。
- ・職員一人ひとりが園の看板になるので、心して見学者や地域の方々と交流していきたいです。
- ・相手の要件を的確に聞き分からないことは、担当者に引き継ぐことで失礼の無いよう対応する。
- ・地域の自然を感じられるように散歩に出る機会をもう少し増やしていく。
- ・保育だけでなく預かりの料金形態・無償化についてわからないことは聞き自信を持って答えられるようにしたい。
- ・問い合わせ内容で有りそうな内容・答えを改めて確認し、いつでもお答えできるようにしていきたい。
- ・もっとボキャブラリーを増やし、コミュニケーションをとるようにしたい。

## 6. 研修と研究(R2年度)

### 評価・反省

- ・園に有る教材を把握し、活用できなかった。
- ・自ら保育について学んでいく姿勢が自分には少し足りなかったと感じる。自ら調べ学ぶ機会を作っていきたい。
- ・研修で学んだことを保育のワンシーンで思い出し「こうしてみよう」「学んだことを生かそう」と思うことはあったが、日々意識し学んだことを活動する努力が足りなかったように思います。園の教材を積極的に利用できなかったため、遊びやゲームが一定化してしまったように思います。
- ・個人的支援やユニバーサルな保育設定について全職員で取り組み、保育者の資質向上と専門性を高めた。
- ・研修で学んだことを積極的に実行し、自分の力にすることが出来た。専門書や雑誌を読むことが出来ていない。
- ・公開保育を行ったことにより、もう一度自分の保育を見直すことが出来た。
- ・公開保育をしたことで、自分の保育の良い点・改善点が分かり自信に繋がった。
- ・様々なメディアから情報を取り入れ活用した。
- ・今年度は研修の機会が少なく自ら参加することもなかった。もっと積極的に学びの場に参加するよう心掛けた。

### (お助けマン)

- ・日頃から専門書や雑誌を見て、知識やアイデアを増やすことが出来た。今後は自分がしたことがあまりないものも学んで実践していきたい。
- ・研修で学んだことは、日々の保育の中でも活用するよう心掛けています。
- ・対外的な研修は中止が多かった。その分園内研修が充実し、同僚と共に学ぶことが出来た。
- ・今年度はコロナ禍でほとんどの研修が中止になってしまった。その中で公開保育、内山先生（発達支援センタールピロ所長）の講義を聴けたことはとても勉強になった。
- ・コロナ禍で研修が少なくなったのが残念だった。
- ・今年度はコロナ禍という事もあって研修が無くなってしまったり、回数がへってしまったりしてしまった。研修内容を日々の保育に活かせるよう、常に保育についての事に気を配っていきたい。
- ・園内研修等には積極的に参加し学ぼうとすることが出来た。保育で使えそうな遊び・内容には常にアンテナを高くするようにしているが、専門書・雑誌等は見ることが出来ていない。
- ・事務に関わる研修等、コロナ禍もあって今年度はあまり参加できなかった。

反省を基に来年度実行・改善すること

- ・教材を把握し、活用する。
- ・参加した研修の内容は自分の保育に取り入れていくことが出来るよう理解し、子ども達にとってどのような保育をするのが良いかを考え保育していきたい。
- ・研修や専門雑誌等で学んだことに対し「いつ」「どのような場面で」「誰に」使えそうか、どのようにして活用していこうか具体的に考え、積極的に活用していきたいと思います。園の教材も同じようなものばかりでなく、エプロンシアターやぬいぐるみを使ったり、ある教材でどのような製作・ゲームが出来るか等を考え、常に新鮮な保育が出来るよう心掛けたいです。
- ・来年度も園内研修を継続して行い、互いに公開保育など行い保育の質や職員の専門的な能力向上に努めていきたい。
- ・積極的に専門書や雑誌を読んだり教材研究をし、自分の保育の知識や幅を広げる。
- ・今年度は研修が少なかったが、来年は増えていくと思うので研修に参加し学んだことを自分の保育に取り入れていく。
- ・発達支援ではまだまだ不十分なところもたくさんあると思うので、新しい情報に高くアンテナを張り、自分の知識として取り入れ実践していけたらと思う。
- ・新しい情報を取り入れ、活かせるようにアンテナを高くはって過ごしたい。

### (お助けマン)

- ・子ども達が新たに興味を持つことが出来るようなものを考えて、たくさんのことを実践したい。
- ・研修にはこれからも自分を磨く良いチャンスだと捉え、積極的に参加していきたいです。
- ・アレルギー対応や救急法については、繰り返し行うことで常に冷静に対処できるようにする。クラスを超えて、皆で子どもを見ていく姿勢を強化していく。
- ・研修が再開されたときは、積極的に参加したいと思う。
- ・支援が必要な子が多くなってきているので、研修に参加して学んだことを保育に生かしていきたい。
- ・来年度は研修に積極的に参加し、園のためにも自分の為にもたくさん知識を吸収したいと思う。
- ・知識を深め保育に活かしていくことが出来る様に、引き続き園内研修や今年度行えなかった夏の研修にも参加していきたい。その場合には、常に実際の園の子どもの姿を思い浮かべどのように活用することが出来るかを意識していきたい。
- ・事務職の年数に合わせた研修があったら、進んで参加したい。
- ・引き続き保育に関するアンテナを高く持っていきたい。
- ・新しい情報を取り入れ、活かせるようにアンテナを高くはって過ごす。

## 安全な運転・業務について

## 評価・反省

- ・徹底してマスクをすることが出来ない時がある。指導不足を感じる。
- ・帰りのバスで先生より報告の無い傷を見つけることがあった。保護者様から聞くと、朝からあったとのこと。朝のバスで気付くことが出来なかった。
- ・予測運転と周囲・車内・子どもの動きを再確認する。
- ・安全運転で運行できた。

## 反省を基に来年度実行・改善すること

- ・マスクの大切さの話をするのですが、「あまりピンとこないようで、もう少しわかりやすく話せるように工夫したいです。
- ・しっかり顔を見て挨拶しないと、見落とす事がある。
- ・。最近ではマスク着用のため、顔全体を見られないので十分に注意していきたい。
- ・譲り合う気持ちを忘れず、安全走行をする
- ・運転・車内でも安全に努め、運行する。